

# from the good Earth

よいちだより「良い地より」

 vol. **11**  
 2015.05

## ナパ近況

新潟でひと仕事終え、妻のGabiとこの余市町に転入して来たのが2012年5月。ちょうど3年経ちました。何度も書くようですが、60歳を過ぎてから大きく居を移した理由はたったひとつ。国内に本格的な欧米型のワイナリー・ゾーンを現出させるためです。人生で8度目、余市に移ってからでも3回目となるナパ・ソノマ旅行を敢行したのも、ですから私自身ワイナリー・ゾーン作りの模範の手本と信じてやまないナパをリアルタイムで体験したいからです。

ナパだけで430軒はあるワイナリー地帯を、3泊4日で10数軒見て歩きましたが、全体として「良貨は悪貨を駆逐する」を実践していました。無意識になのか、それとも裏で協定してなのかは分かりませんが、全体がゆったりとして静かでした。4月初旬の復活祭休暇と重なりましたので、どこも混雑はしていましたものの、一般に商品(ワイン)が高価ということもあり、整然とした佇まいの所が多くて安心しました。どこのワイナリーも自分達の施設を上手に案内する人を何人か抱えていて、丁寧に説明してくれます。建物の周囲はきれいに作られた庭、そして更にその外側にぶどうがたくさん植わっていて、案内してくれる人の話には強力な説得力があります。

建築中のワイナリー本棟を幾つか見掛けましたから、ナパだけでも10年後には500軒を超えるでしょうが、今回「ロバート・モンダヴィ」と「マム」の両ワイナリーで、案内者に同じ質問をして同じ答えを得ました。「現在合衆国には何軒ワイナリーがあるのですか。」「16,000軒です。」1975年は確か

170軒に届かなかったのですから、この40年で実に100倍となった計算です。この国は、かつてのワイン輸入大国から、今や着実に世界一のワイン産出国となりつつあります。素晴らしいことです。

今回のナパ行きには、隣の仁木町副町長さんや余市町の財界人夫妻、そして私のワイナリー塾々生も7人同行して、総勢12名の旅となりました。会員の皆様もお誘いしてとは考えますものの、気が付いたらいつも定員一杯で申し訳なく思っております。

## 帰り来て我がワイナリーのこと

昨年に比べますと2週間も早い雪融けゆえ、4月8日に帰り来ましてからは、楽しく忙しがっています。昨年の春から夏にかけて作り上げた庭のバラや草花は一段と大きく成長しました。一昨年、昨年と合計14,000本のぶどう苗を植えました。今秋はかなりの収量が見込めそうです。芝生も生きいきとしています。心躍る毎日、ワイナリー経営という職業の喜びがここに 있습니다。今年は果たしてどのような夏、そして秋になるのだろうか。

## ホットな日本のワイン業界の動き

私は高みの見物と決めています。現在ネット上で面白い議論がなされています。この秋に向けて、ワインの表示ルールが180度転換するというのです。輸入ワインや輸入濃縮果汁で「国産ワイン」を作っていた会社や、他の町のぶどうから作ったワインを自分の町の名が入ったラベルで売っていた会社が徹底的に不利になる法律とのこと。欧米では



当り前の法律が、やっと施行の運びとなるらしいのです。えっ、そんな話ってありですか、という皆さんは「日経ビジネス on line」を見て下さい。私が50年近く前から知っていることが色々書いてありますので。

### 外から入ってきた人のつとめ

私共の目標であるワイナリー・ゾーンの作出を推し進める時、地元の人々が私共に期待するものは何でしょう。余市、仁木に多くの中小ワイナリーが出来て、それらを巡るために訪ね来るワインファンが増え、この地が日本一の本物のワインランドと認められて町は発展する。今迄の生の果物を産出する産業から、その加工品たるワイン作りを通して人々をこの地に魅き付ける。それはこの町の産業構造を

変えることになる、と表現する人もいます。しかし、この動きを端的に表現するならば、それは「雇用創出」です。世界中の新ワイナリー・ゾーン形成に於いては、各社数十人の雇用を促しますから、その地区では明確に人口が増えているのです。しかも若い世代の人口が。

昨年春余市にぶどう畑を取得した東京の会社は、現在、都合で足踏み中ですが、昨年暮仁木に土地を大きく取得したDACという東京の会社はワイナリー建設に着手しました。私の私塾の生徒で、個人でワイナリーを始めると言っている3名は仁木に大きな土地を手に入れたか、入手寸前の状態です。さらにこの5月末にも東京の会社が仁木でワイナリーを興すべく土地を見に来ました。着実に運動が加速しています。ご期待下さい。

OcciGabi Winery 落 希一郎

## OCCIGABI WINERY SPECIAL DINNER

オチガビワイナリースペシャルディナー

2015年6月28日(日) 18:30～(18:00受付)

ご予約・お問い合わせ

LA BRIQUE ラ・ブリック TEL:011-206-8129

- 会場: サッポロファクトリー「ラ・ブリック」
- 料金: 11,000円(税込/受付時現金のみ)
- 着席制: フルコース料理 ワイン6種類

### 奏楽(そら)コンサート

日時 2015年6月7日(日)14:30開場

演奏 15:00～16:30

チケット おひとり様 2000円(お茶とケーキ付)

※お茶とケーキのご提供は14:30から15:00までとなります。

◆ 曲目 ◆

- ◇ J.S.バッハ: 主よ人の望みの喜びよ
- ◇ ブラームス: FAEソナタより
- ◇ ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ 他

◆ 奏者 ◆

オーボエ: 岩崎弘昌 電子ピアノ: 前田朋子 ヴァイオリン: 田島理恵



### 午後のお茶会コンサート

<チェンバロの調べにのせて絵本の世界へ>



チェンバロ奏者  
明楽みゆき

京都出身。  
大阪音楽大学音楽学部卒業。  
同学部専攻科修了。  
大阪音楽大学附属音楽学園、大学講師を経て現在、札幌にてフリー活動。

よみかたり 興膳 津(こうぜん しん)

8年間に渡り、札幌を中心に読み聞かせボランティアを展開。図書館や小学校での絵本の読み聞かせを続けるなか、2013年8月のチェンバロとの初コラボレーションにより、新しい形での「大人も楽しめる絵本の読み聞かせ」をはじめる。

日時 2015年7月5日(日)15:00より

チケット おひとり様 2500円(お茶とケーキ付)

15:00～15:45 チェンバロ演奏  
15:45～16:45 お茶とケーキ  
16:45～17:15 チェンバロとよみかたり

### 真夏の夜のジャズ

North Pandemic Groove  
余市公演

日時 2015年8月5日(水)18:30より

チケット おひとり様 2000円(お茶とケーキ付)

若きジャズ・グループ、  
北海道から大感発!!

- ◇ トランペット: 山田丈造
- ◇ ギター: 門馬由哉
- ◇ ベース: 越智俊介
- ◇ ドラム: タイヘイ



お問い合わせ  
ご予約

tel.0135-48-6163 / fax.0135-48-6164

携帯:090-6198-5501

E-mail occigabi@ae.auone-net.jp